



館内おはなし会 (20分くらい)  
のごあんない  
1かい児童えほんコーナーにて

おはすい おはなし おはすい	おはどん おはなし おはどん	おはちび おはなし おはちび	すがたり おはなし おはなし
毎週水曜日 16:00~ えほんのよみかせ を中心に 第3水は昔語りの日	毎週土曜日 15:00~ きせつのおほん よみかせや 紙しばいなど	第2日曜日 第4水曜日 17:00~ 0・1・2歳向け てあそび・えほんなど	第5土曜日 15:00~ 絵本などをつかめない おはなし語りです おはなしの心になれます
☆おはなし会スタッフカードあります。スタッフをTのるとTのるといいことあります。			

# NEWS はるのおはなし会2のけりたネ!

5月11日(日) おてんきがわるい中  
第1部 第2部  
68人、60人のおきゃくさまをむかえて  
手あそびやパネルシアターなど  
たのしい時間をすごしました。  
ありがとうございました。  
なつのおはなし会もどうぞ  
おたのしみに♡



6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 (休)	3	4 おはすい 40分	5	6	7 おはどん 30分
8 おはちび 10分	9 (休)	10	11 おはすい 40分	12	13	14 おはどん 30分
15	16 (休)	17	18 おはすい 40分	19	20	21 おはどん 30分
22	23 (休)	24	25 おはすい 40分	26	27	28 おはどん 30分
29	30 (休)	館内おはなし会 は出入り自由です お気軽にどうぞ。				

休館日  
毎週月曜日お休み(休)  
\*月曜が祝日のときは翌火曜日

開館時間  
平日 9:30~19:00  
土・日・祝  
9:30~17:00

# よこく なつのおほんまつり

7/19(土) ~ 8/24(日)

テーマは  
「たべちやうぞう」

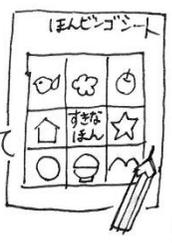
## なつのおはなし会 8/3(日) 10じ~

2F 講座室

なつらしいおはなし、おいしいおはなし  
ちやうとコワイおはなし。もりたてさんデス  
なつの絵本もたくさんならびます。  
おたのしみ。プレゼントもあるよー  
パネルシアター「おばけおばけのかぞえうた」  
ペーパークラフト「ふたりのあさごほん」  
ほか イロイロです。

1 おはなしポケット  
メンバーおすすめえほんコーナー

2 ほんビンゴ!  
いろいろなえほんをさがして  
ビンゴめざしてね😊



お問い合わせ  
つるおか市立図書館  
TEL 0235-25-2525



7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 おはすい 40分	3	4	5 おはどん 30分
6	7 (休)	8	9 おはすい 40分	10	11	12 おはちび 30分
13 おはちび 10分	14 (休)	15	16 おはすい 40分	17	18	19 おはどん 30分
20	21 うみの日	22 (休)	23 おはすい 40分	24	25	26 おはどん 30分
27	28 (休)	29	30 おはすい 40分	31	8/1	2 おはどん 30分
3	4 (休)	5	6 おはすい 40分	7	8	9 おはすい 40分



一年で一番昼の長さが長い時期です。外にいる時間も長くなってきますが、本を開く時間も、一日の中で少しでもあったらうれしいです。

さて、今回ご紹介するのは、クリス・ホートの絵本です。絵が印象的？登場人物(?)の目が印象的な絵本作家さんです。紹介するのは、『もしかして…』(クリス・ホートン作 木坂涼訳 BL出版 2021年刊)です。

主人公は3匹の子ザル。手足の長い、目のクリツとした子ザルたち。お父さんザルは、出かける前に「マンゴーの木のところには ぜったいにいくなよ」と言っています。なぜって、トラがいっぱいいるから。でも、子ザルたちは、マンゴーが大好き。

「でもさ。」と考えます。「もしかして…みるだけなら」3匹はよく注意して、よくよく見て、トラいる?どこにもいない!「もしかして、手のとどきそうなマンゴーなら、とってもいいんじゃない?ね?」

トラなんていない、いない。と言いながら、マンゴーの木のところに行って、マンゴーをムシャムシャ。そこに、トラたちがやってきます。にげろー!! ジャンプだー!!のぼれー!!ようやく、お父さんから言われた元の場所に戻れました。

3匹が固まってドキドキしているところへ、お父さんが帰ってきます。「どうしてきょうはこんなにトラがいるのかなあ。おまえたちもみただろ?」子ザルたちは「う…うん。そ…そうだね。なんだかしらないけど。」と、知らん顔。そして、お父さんが、「バナナを取りに行きたいんだが、こまったなあ。」と言うのを聞いて、子ザルたちは、またつぶやきます。「もしかして…」さてさて。あとは想像におまかせ。

この絵本、子どもたちの絵を見る目を信じて、お話の中に書いてある言葉だけを読んであげてください。きっと、子どもたちが絵の中に見つけたことを教えてくれますよ。文字を追っている大人より、ずっと良い目を持っていますから。

この作家のほかの絵本も読んでみてくださいね。『どうする ジョージ!』(2014年刊)も、大人は「あ～あ、やっちゃった。」と笑っちゃうけど、子どもたちにとっては、ドキドキがとまらない、心配な本かもしれませんよ。



『もしかして…』  
クリス・ホートン 作  
木坂 涼 訳  
BL出版 2021年刊

# ポケットの穴からこぼれた話

「むかしむかし あるところにおじいさんとおばあさんが…」といった定番の素語りを行っております。お話には悪いおじいさんが登場し、お話を盛り上げていく重要な役割を果たしてくれます。

ふと、重要な役割とは何か?と感じたことがありました。お話の内容を展開し盛り上げていく為に、相反する人物を比較対象として登場させることで理解がやさしく内容が面白くなります。つまり、善悪(陰陽)はどちらも必要な存在となります。

日常生活では、悪い陰なる人物や物事はなるべく避けたいと思うのが人情です。しかし、光があれば影があるように、自然界においても陰陽は至る所で見つけることが出来ます。例えば、棒磁石はその両端にN極とS極が存在しますが、それを真ん中から切り離したとしても2つに分離された棒磁石には新たなN極とS極が発生するだけです。よって、陰陽は分離できるものではなく互いに必要な存在であることを意味しているように思えてなりません。それでは、陰の役割とは何なのでしょう? 誰もが人生において上手いこと、いかなかったことを経験していることでしょう。

しかし、それは短期的な視点ではそのように感じるものであって、より長期的な視点では上手いことなく良かったと感じることがあります。あの時、陽なる経験として通り過ぎていたとしたら、自らを省みることのない人間になったであろうと想像出来るからです。

つまり陰は陽へ向かう触媒の役割を果たしたことになります。まさに人間万事塞翁が馬です。こども達はいずれ社会へ出て陰陽問わず様々な経験をしていくことでしょう。その貴重な経験から高い品性を身につけた立派な人物に成長していくことでしょう。

～裏方より～



ポケットメンバーの  
**おすすめ  
作家紹介**

『あんばんまん』  
フレーベル館 1976年



『あんばんまんごりらまん』フレーベル館(2022) あんばんまん生誕50周年を記念し新装版がとして発売

飢えている人に食べ物を出し出す行為は絶対的な「正義」。この物語はやなせの競争体験から生まれたのだろう。しかし当時の大人たちは「頭を食べさせるなんて残酷だ」と不評だった。最初にあんばんまんはパンを配るおじさんだった。

やなせたかし  
漫画家

1919年(大正8年)、高知県生まれ 東京高等工芸学校図案課(現・千葉大学工学部デザイン科)卒。日中戦争に出兵。終戦後、三越のデザイナーを経て独立。漫画家の肩書を掲げるが、放送作家、演出家、作詞家、編集者など他分野で活躍。1973年『あんばんまん』の絵本を出版

雑誌「詩とメルヘン」  
サンリオから発行されていた読者参加型の文芸誌

やなせが編集長を務めて1973年5月創刊し、2003年8月通算385号まで刊行された現在は休刊している。主催する賞からは現在活躍する東君平、小手毬るい、黒井健、いもとよこなどが受賞している。「月刊いちごえほん」は「月刊詩とメルヘン」のジュニア版として発行され編集責任者を務めた。

『やさしいライオン』

フレーベル館 1982年  
映画「千夜一夜物語」で美術とキャラクターデザインを手がけたやなせに、ヒットの功労として映画作成を提案。その時に生まれた短編アニメ映画の絵本版。みなしごライオンと育ての親はやさしい犬の、強いきずなの物語。



ノスタル爺さん

84歳でCDデビュー  
東日本大震災後、ラジオで「アンパンマンのマーチ」のリクエストが多く寄せられるなど、やなせの歌詞は人々に元気を与えてくれた。自身もオイドルとして「ノスタル爺さん」でCDデビューしている。

